

第4学年 国語科学習指導案

日 時 令和2年7月20日（月）5校時
児 童 4年1組 15名
授業者 教諭 西村 亮子

1 単元名

一つの花

～場面の様子を比べて読み、手紙を書こう～

2 児童の実態

4年生の最初の文学教材「白いぼうし」では、登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に考えること（思C(1)イ）に重点を置いて学習をした。その際、場面とは何かということを抑え、どの場面で誰が何をしたのかを読み取ることができた。また、登場人物の気持ちを考える時には、ただの想像ではなく、行動や会話、地の文を表す叙述を基に自分の考えを述べるようにした。言語活動として位置付けた「松井さん日記」から、概ねの児童が重点を置いた内容については理解をしている様子が見られた。課題としては、語彙を増やすことや表現力を高めることに加え、情景を表す言葉に着目する力を高めることである。今回の単元では、この部分を重点的に指導したい。

読書に関しては、朝読書で静かに集中して読むことができる。一方で、休み時間に図書館を利用する児童はまだ少ない。読書を好きになってもらいたいと考え、学年で「宝物図書コーナー」を作り、担任が毎週オススメの本を1冊持ってきて紹介している。その結果、給食の後や朝の時間に読む姿も見られるようになってきた。この調子で続けていきたい。

3 単元の指導目標

◎登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結びつけて具体的に想像することができる（思C(1)エ）

○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる（知(1)オ）

○文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持つことができる（思C(1)オ）

4 本単元と研究との関連

この教材は、戦争を題材として、厳しい時代を懸命に生きていくゆみ子の家族の姿や、幼い我が子と妻を残して出征しなければならなかった父親の家族に対する深い愛情が描かれている。戦争中と戦争後の情景の変化を対比させながら、作品への理解を深めていく。その中で、語彙を増やししながら、登場人物の気持ちの変化や情景について読み取る力をつけていく。

そのために3つの手立てを考えた。1つ目は、語彙を増やすために、「表現いいね辞典」を作り始めた。朝読書や教科書の「言葉の宝箱」を利用しながら、気持ちや性格を表す言葉を集め、自分だけの気持ちを表すオリジナル辞典を作り、学習中いつでも見ることができるようにした。また言葉を知るだけでなく、意味を理解し使いこなせるように、学習の初めに辞典を活用しながら短文作りをしている。2つ目は関連図書の充実だ。7月から、中湧別図書館と連携し、教室内に戦争に関する図書を多数置いて朝読書で手に取ることができるようにした。これらが戦争に関する情景の読みを助ける、あるいは深めるような一手になればと考えている。また「宝物図書コーナー」でもこ

の時期は戦争の本を取り上げて読み聞かせをしている。以上2点は、本年度の研究内容の①読書指導の改善・充実とリンクしている。

3つ目は、場面ごとに「ゆみ子一家の手紙」という、父母になりきって手紙を書く言語活動の設定だ。手紙の表現様式として相手に思いを寄せて書くという特徴があるので、今回のつきたい力に適していると思い設定した。場面ごとに、ゆみ子に対する母の思いや父の思いを、それぞれの行動や会話、情景（地の文）などを手掛かりに具体的に想像し、手紙を書く。例えば、出征する場面では、一輪のコスモスの花に委ねられたゆみ子への強くあふれ出る父の思いを読み取らせ、ゆみ子と母へ手紙を書く。そして、終末では、平和な世の中をゆみ子と一緒に生きている母からの、亡き父へのアンサーレターとして、手紙を書く。その際、コスモスの情景の対比を用いながら、その意味を考えて思考を深めていく。これらは、研究内容の③言語活動例の活用とリンクしている。登場人物の気持ちや情景の変化について、場面の移り変わり結びつながら具体的に想像するための手段として、豊かな語彙を用いて手紙を書き、つきたい力に迫っていく。

5 単元の授業過程（全8時間）

次	時	学習活動	評価基準
1	1	・「ちいちゃんのかげおくり」の読み聞かせを聞いて、戦争をテーマにした作品ジャンルに気づかせる	・戦争をテーマにした本を読み、自分なりに学習課題を見つけ、学習の見通しをもととしている。
	2	・「一つの花」を読み、初読の感想を書いて交流し、学習課題を作る。	
2	3	・戦争下の生活について情景を基に叙述に即して想像する。	・戦争中の生活の様子や登場人物の様子について叙述を基に読み取っている。
	4	・「一つだけ」を覚えてしまったゆみ子に対する両親の思いを想像し、手紙の形で書く。	・父母のゆみ子に対する気持ちが表れている叙述を見つけ、子どもへの愛情や将来への不安を想像して手紙を書いている。
	5, 6	・「一つだけ」のコスモスを手渡すゆみ子の父の思いを想像し、手紙に書く。	・キーワードを手がかりに、出征していく父親と見送る母親の気持ちを叙述に即して読み取っている。 ・一つの花に込められた父親の思いを読み取り、ゆみ子と母に向けて手紙を書いている。
	7	・10年後の平和な時代に生きるゆみ子の姿に寄せる母の思いを想像し、なき父への手紙の形で書く。	・戦争中と十年後を比較し、その違いを叙述にそって読み取り、母の思いを想像しながら、亡き父への手紙を書いている。
	8	・作品のキーワードとなる言葉や題名のもつ役割について考える。	・各場面に出てくる「一つだけ」のそれぞれの意味や題名に込められた作者の思いについて考えることができる。

6 本時の学習

(1) 目標

・家族を置いて出征しなければならない父親が、一輪のコスモスの花に込めた思いや願いについて叙述をもとに読み取ることができる。

(2) 本時の展開（6／8）

児童の学習活動	研究内容との関連	教師の支援・評価
<p>1 前時までの学習をふりかえる。</p> <p>2 課題を確認する</p>		<p>○読みのコツを確認する。</p> <p>○前時の学習から、この場面の父の気持ちが表れている叙述がどこだったか、確認する。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>ゆみ子に一輪のコスモスを手渡して戦争に行く父の思いや願いを想像して手紙に書こう。</p> </div>		<p>〈父の気持ちが表れていそうな叙述〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みんなおやりよ、母さん。」 ・「一つだけのお花、大事にするんだようー。」
<p>3 父の気持ちが表れている叙述を確認し、その時の気持ちを想像してノートに書く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・お父さんの手には、一輪のコスモスの花がありました。 ・にっこりと笑って ・ゆみ子のにぎっている、一つの花を見つめながらー
<p>4 会話や行動の叙述から想像した父の気持ちを発表する。</p>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・父の会話や行動などの叙述から、出征する前の父の気持ちを想像することができる。（ノート・発表） </div>	<p>○叙述から気持ちを考えることが難しい児童が多い場合、前時までの学習の掲示に注目させたり、ノートや「ゆみこ一家の手紙」をふり返ったりする場を作る。</p>
<p>5 一輪のコスモスに込めた思いを想像し、父からゆみ子（や母）への手紙を書く。</p>	<p>① 読書指導の充実</p> <p>③ 言語活動例の活用</p>	<p>○手紙を書く際には、「表現いいね辞典」を活用して書くことを伝える。</p>
<p>6 グループ（かペア）で手紙を交流する</p>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コスモスに込めた父の思いや願いにふれながら、手紙を書いている。（手紙のワークシート） </div>	<p>○互いの表現のいいところに注目しながら交流するよう伝える。</p>
<p>7 次時の見通しをもつ</p>		

6 本時の学習②

(3) 目標

- ・戦争中と戦後の場面の様子や登場人物の気持ちについて、会話や情景などの叙述を基に対比しながら、具体的に想像することができる。
- ・読み取ったことをもとに、自分の考えを手紙に書くことができる。

(4) 本時の展開（7／8）

児童の学習活動	研究内容との関連	教師の支援・評価
<p>1 前時までの学習をふりかえる。</p> <p>2 課題を知る</p>		<p>○「一つだけ」のコスモスに込めた父の思いを確認する。</p> <p>○読みのコツを確認し、情景や気持ちに注目して考えることができるようにする。</p>
<p>十年後の場面の様子から、母の気持ちを想像し、手紙に書こう</p>		
<p>3 5の場面を読み、今まで学習した戦争中と戦後の場面を対比して、ノートにまとめる</p> <p>4 戦後の生活やゆみ子の変化を発表する</p> <p>5 コスモスの花について考える</p>	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会話や情景等の違いに注目し、前時までの場面と対比しながらノートに違いをまとめることができるか。 <p>(発表・ノート)</p>	<p>○コスモスの様子や生活の様子、「一つだけ」という言葉がないこと、ゆみこの成長など、対比するときの視点を与える。</p>
<p>なぜ、他の花ではなく、コスモスの花でいっぱいなのでしょう。</p>		
<p>6 豊かになった戦後の暮らしの中でゆみ子の成長を見届けている母から、天国の父への手紙を書く。 (アンサーレター)</p>	<p>① 読書活動の充実</p> <p>③ 言語活動例の活用</p> <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和で幸せな時代の様子を表す叙述を見つけ、母の安心した気持ちや父の願いを受け継いだ思いを想像しながら豊かな語彙を用いて手紙に書いているか。 <p>(ワークシート)</p>	<p>○父の願いが詰まった一輪のコスモスと戦後の情景を比べることによって、父の願いを受けついだ母の思いまで想像を深められるようにする。</p> <p>○手紙を書く際には、「表現いいね辞典」を活用して書くことを伝える。</p>
<p>7 次時の見通しをもつ</p>		